

バーバラ・アラン

- 1 聖マーティン祭の頃でした
緑の木の葉の枯れる頃
西の国のサー・ジョン・グレアムが
バーバラ・アランに恋をしました
- 2 ジョンは使いを走らせました
バーバラ・アランが住んでる町へ
「今すぐに主人のもとへ来てください
あなたの名前がバーバラなら」
- 3 バーバラはのそりのそり起き上がって
ジョンのもとへ行きました
カーテンをあけていうことには
「おや あなたはもうおしまいね」
- 4 「ぼくは重い重い病気なのだ
あなた想うて恋い焦れ」
「あなたがいなけりや それだけいいわ
あなたの心臓の血が流れても」
- 5 「あなたはもう忘れたの
酒場で一杯やつてるときに
みんなにずうつと乾杯かんぱいをして
バーバラ・アランを馬鹿にしたのを」
- 6 ジョンは壁を向きました
死がジョンと取りひきをしています
「さようなら さようなら わが友だち
バーバラ・アランにやさしくしておくれ」
- 7 バーバラはのそりのそり起き上がって
のそりのそり立ち去りました
そして悲しげにいました あの人死んだからには
わたしはここにはもうおれない
- 8 バーバラが二マイルも行かぬうち
弔とむらひいの鐘かねが鳴りました
鐘かねが鳴るたびに聞こえたのは
バーバラ・アランにわざわいあれ
- 9 「お母さん お母さん 床をのべてください
ふんわり小さくのべてください
あの人あの人がわたしを想うて今日死にました
わたしは明日あしたあの人想うて死ぬでしょう」